様式-2(1):型03 日常管理調査票(1/2) 地すべり防止施設機能診断調査 <集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施錠を確認する / 5/ 点検者 点検年月日 17 31 天候 握り (調査票番号: ブロック名 不明 丸山4号 諸 区域名 施工年度 元 該当施設(施設番号) 🖸 集水井工 深度 不明 m 対象項目(口にレをチェック) 異常が見られる項目(口にレをチェック) 結果(口にレをチェック) ①集水井工内部 □ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ☑ 異常なし ※集水井工内部の視認の可否 ☑ 2.腐食(著しい錆等) 口 異常あり □ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) 【状況】以下に貼当すればテェック ☑ 可 □ 不可(状況を下記に記載) □ 4.異常湛水や土砂等の堆積 □ 植生等で見えにくい <材質·種類> □ 他の理由で見えにくい ☑ 鋼製(ライナーブレート等) (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端 口 コンクリート製(セグメント等) より水面が高い場合) □ その他(②排水ボーリング(流末施設) □ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 □ 異常なし ※排水ボーリング吐口の有無を確認 口 2.吐口部周辺の損傷 □ 異常あり 口有口無(見当たらない) □ 3.吐口部周辺の埋没 (以及7の下にひちずればチェッフ □ 植生等で見えに(い) ☑ 異常なし 3天蓋 □ 1.変形·損傷 ※天蓋の有無を確認 □ 2.腐食(錆、表面劣化等) □ 異常あり ☑ 有 □ 無(見当たらない) □ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 **以及10**下には当ずればチェン □ 4.点検口の鍵がかかっていない(開いている) ロ 植生等で見えにくい ※点検口の施錠: 口 有 🗵 無 4点検梯子 口 異常なし ☑ 1.変形·損傷 ※点検梯子の有無を確認 ☑ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☑ 異常あり 施 ☑ 有 □ 無(見当たらない) 「从屋」以下に送出すればチェック 設 □ 植生等で見えに(L) ⑤安全施設(立入防止柵等) □ 1.変形·损傷 □ 異常なし ※安全施設の有無を確認 □ 2.腐食(錆、表面劣化等) 口 異常あり □ 有 ☑ 無(見当たらない) □ 3.柵の錠の損傷・腐食等 状況 |以下には当ずればモンバ ※入口の施錠: □ 4.入口の鍵がかかっていない(開いている) □ 植生等で見えにくい 口有口無 ☑ 異常なし □ 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押出し・吸出し・亀裂等) 口 異常あり 6周辺状況 □ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等) (状況)以下には当すればチェック ロ 植生等で見えにくい :・上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする 点検結果 □ 異常なし ☑ 異常あり 各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入) 15.25調査開始. 内径:3.5m. 深さ(水面):12.06m, 立ち上がり: 1.50m. EC:326uS/cm, 水温:17.0°C 概略構造 集水井工は、暗きょ工や水抜きボーリング工等で排除できない比較的深い地 (形状や材質には様々な種類があります) 下水の排除や、すべり面に働く過剰な間隙水圧の低減を目的としています。 根因めコンケリート 从提迫图 (【点検時注意】天蓋の上に乗るなどの危険行動はしない。 最後に必ず施錠を確認すること。) 地上 FAI 1181 西すべり鮮面、集水ボー 生水ボーリング孔口 付帯施設 リング 并内派水上等深度 抹水ボーリング **特别** 四条数 度陽コンクリート天站 水位 (井四本高温度) 地下水位 **室**水井工

評価 (施設管理者記入)

□ 1.追加調査が必要 □ 2.補修が必要

混るエンクリート 「月月月日

FAL

□ 3.点検を継続

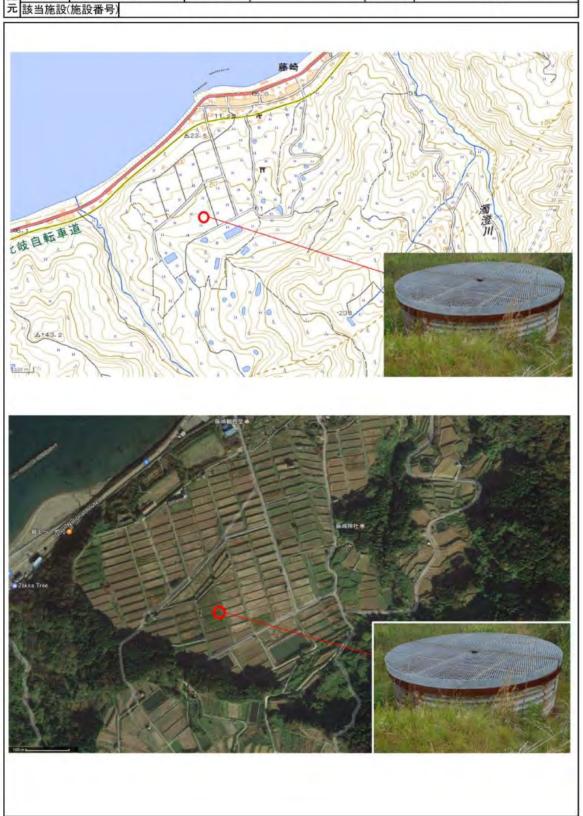
流束処理

排水路工

流末施設-

排水ボーリング

点	検年月日	17 /	5/	31	天候	曇り	点検者		(調査票番号:	4)
諸	区域名 該当施設(丸山4号		ブロック名	3		施工年度	不明		
元	該当施設(施設番号	릉)								

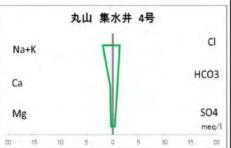


日常管理調査票(2/2) 地すべり防止施設機能診断調査

点検年月日	17 / 5/	31 天候	曇り	点検者		(調査票番号:	4)
諸 区域名	丸山4号	ブロッ	ク名		施工年度	不明		
元 該当施設	(施設番号)							







様式-2(1):型03

日常管理調査票(1/2)

地すべり防止施設機能診断調査

ロ 植生等で見えにくい

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施錠を確認する 点検年月日 17 / 5/ 31 天候 墨り 点検者 (調査票番号: 諸 区域名 丸山5号 ブロック名 施工年度 不明 元 該当施設(施設番号) ② 集水井工 深度 不明 m 対象項目(口にレをチェック) 異常が見られる項目(口にレをチェック) 結果(口にレをチェック) □ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ①集水井工内部 フ 異堂なし ※集水井工内部の視認の可否 ☑ 2.腐食(著しい錆等) 口 異常あり □ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) (状況)以下には当すればチェック ☑ 可 □ 不可(状況を下記に記載) <材質·種類> □ 4.異常湛水や土砂等の堆積 ロ 植生等で見えにくい ☑ 鋼製(ライナーブレート等) (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端 □ 他の理由で見えに(い □ コンクリート製(セグメント等) より水面が高い場合) 口 その他(②排水ボーリング(流末施設) □ 異常なし □ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 ※排水ホーリング吐口の有無を確認 □ 2.吐口部周辺の損傷 口 異常あり 口有口無(見当たらない) 口 3.吐口部周辺の埋没 【状況】日下に納金を刊はままツウ ロ 植生等で見えにくい (3)天蓋 □ 1.変形・損傷 ☑ 異常なし ※天蓋の有無を確認 □ 2.腐食(錆、表面劣化等) □ 異常あり □ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 (状況)以下に辿らずれはチェック ☑ 有 □ 無(見当たらない) 口 植生等で見えにくい □ 4.点検口の鍵がかかっていない(開いている) ※点検口の施錠: 口有口無 口 異常なし 4点検梯子 ✓ 1.変形・損傷 ※点検梯子の有無を確認 ☑ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☑ 異常あり ☑ 有 □ 無(見当たらない) (状況)以下に無名すればチェック 設 ロ 植生等で見えにくい 5安全施設(立入防止柵等) □ 1.変形・損傷 □ 異常なし ※安全施設の有無を確認 □ 2.腐食(錆、表面劣化等) □ 異常あり □ 有 ☑ 無(見当たらない) □ 3.柵の錠の損傷・腐食等 (状況)以下に対ってればチェック ※入口の施錠: 口有口無 □ 4.入口の鍵がかかっていない(開いている) ロ 植生等で見えにくい □ 1.地表の変状 ☑ 異常なし (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押出し・吸出し・亀裂等) 口 異常あり 6周辺状況 □ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等) (住所)以下にいますればチェック

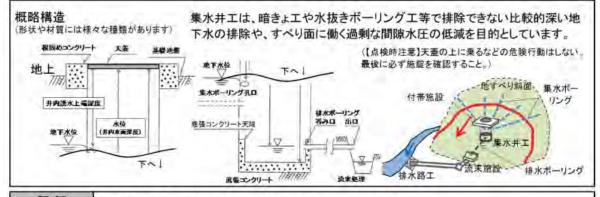
点検結果 □ 異常なし ☑ 異常あり ::上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入)

15:35調査開始, 内径:3.5m,

立ち上がり: 2.70m,

蜂の巣確認

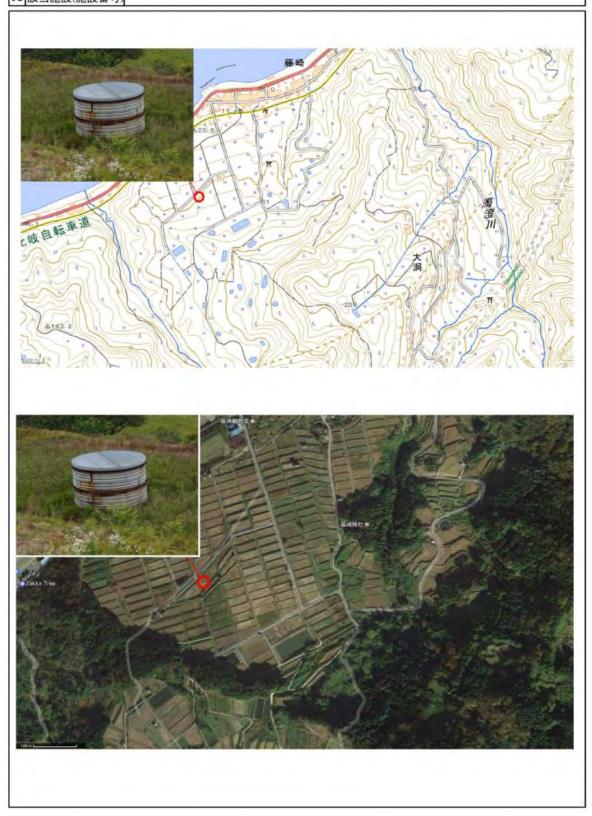


評価(施設管理者記入)

□ 1.追加調査が必要 □ 2.補修が必要

□ 3.点検を継続

点	検年月日	17	1	5 /	31	天候	曇り	点検者		(調査票番号:	5)
諸	区域名		丸	山5号		ブロック名	ž i		施工年度	不明		
	該当施設(施設者	(号)									



日常管理調査票(2/2) 地すべり防止施設機能診断調査

<位置図·写真(自由書式)>

点検年月日	17 /	5 /	31	天候	曇り	点検者	(調査票番号:	5)
-------	------	-----	----	----	----	-----	---------	---	---

諸 区域名 丸1元 該当施設(施設番号) 丸山5号 ブロック名 施工年度 不明







様式-2(1):型03

評 価 (施設管理者記入)

日常管理調査票(1/2) 地すべり防止施設機能診断調査

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施錠を確認する

点	検年月日	17 / 5/	31	天候	曇り	点検者		《調査票番号	1:	6
	区域名	丸山6号		ブロック	名		施工年度	197	76年	
元	該当施設	施設番号 2 集	水井工		()	深度	不明 m
	対象項目	(ロにレをチェック	(5	1	異常が見られ	れる項目(口)	こレをチェック)	結果(ロにレ	をチェック
本体	☑ 可 □ < 材質・利 ☑ 鋼製(□ コンク)□ その他 ②排水ボ※排水ボ	工内部の視認ので 不可(状況を下記に 類> ライナープレート等) リート製(セグメント等	記載))) を確認	☑ 2.腐食 □ 3.集水 □ 4.異常 □ 1.排水 □ 2.吐□	湛水や土砂 常湛水:集水 がない、もし))閉塞(孔口: 等の堆積 井内部の底: くは排水量の傷	部に付着物がある) 張コンクリート天端 より水面が高い場合 D明らかな減少	回植生 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他	常あり 主等で見 で見 常なし 常あり	えにくい 見えにくい
付帯施設	☑ 有□ ※点検□ ④点検梯 ※点検梯 ☑ 有□	子の有無を確認 無(見当たらない	≥ 無	□ 3.点検□ 4.点検□ 4.点検□ 1.変形□ 2.腐食	(錆、表面劣 ロの鍵の損 ロの鍵がか・損傷 (錆、表面劣	傷・腐食等 かっていなし	へ(開いている)	□ 異((#2)µ7 □ 植生 □ 異(□ 異)	常なり	ルはチェック しえ/こくし
	※安全施	設(立入防止柵等 設の有無を確認 無(見当たらない 施錠: □ 有)	口 3.柵の	(錆、表面劣 錠の損傷・腐		開いている)	The second second	常あり	LILEGON
	⑥周辺状	兄			隆起·洗掘·	流出・崩落・排 まり、湧水等	甲出し・吸出し・亀裂等 注)	DERING	常あり	niiチioo
	点検結果	□ 異常なし	17	異常あり	· F 27	でーつでも「!	異常あり」があれば点	捻駐里‡「	歴党な	ロルオス
15内深立区	:45調査 径:3.0m, さ(水面) ち上がり 2:365µS/	:9.08m,	°C,			記入)				
	略構造 状や材質に 機関的など 地上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上編製技	(中)	ド水の排版 地下水位 集水水-リンク	余や、すべり下へ	面に働く過		成を目的とに乗るなどの ること。)	している 危険行動 が料置。	ます。

□ 1.追加調査が必要 □ 2.補修が必要 □ 3.点検を継続

点検年	月日	17 /	5 /	31	天候	曇り	点検者		(調査票番号:	6)
諸区均	或名	丸	山6号		ブロック	名		施工年度	1976年		
元該当	施設(推	(号番号)									



日常管理調査票(2/2) 地すべり防止施設機能診断調査

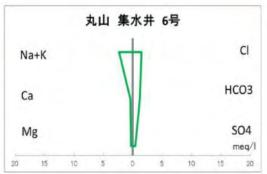
点検年月日	17 / 5/	31	天候	曇り	点検者		(調査票番号:	6)
諸 区域名	丸山6号	킂	ブロック名			施工年度	1976年		
元該当施設	体設悉号								











様式-2(1) 型03

評価 (施設管理者記入)

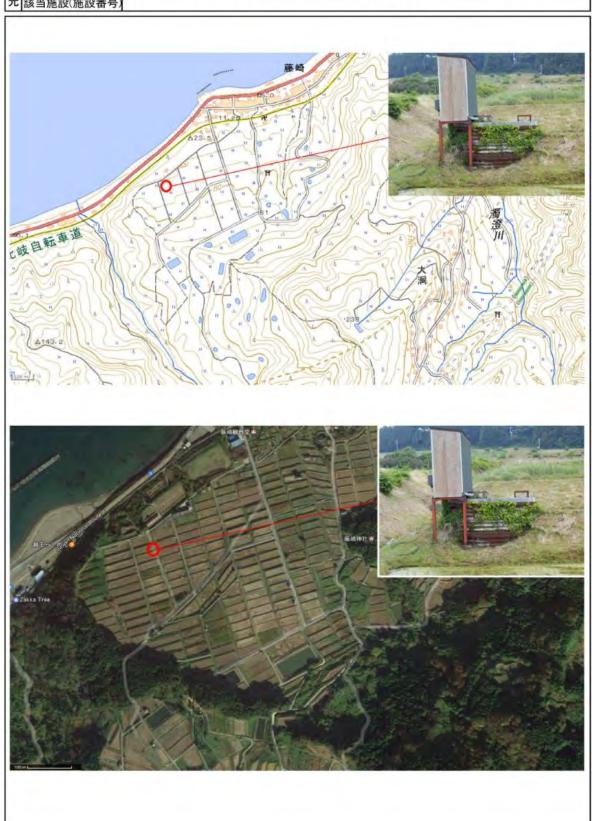
日常管理調査票(1/2) 地すべり防止施設機能診断調査

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施錠を確認する 点検年月日 17 / 5 / 31 天候 曇り 点検者 (調査票番号: 7)

=	T====	AIX	製り 高快3		不明 不明
諸元	区域名 丸山7号 該当施設(施設番号) 集水井工	ブロック名		施工年度	不明
70			# 180 > 1 ₀ 7 15 0 /	= (-1 + xh)) 深度 不明 m
本体		☑ 1.変形・損 ☑ 2.腐食(著 □ 3.集水ボ- □ 4.異常湛 (異常湛	ーリングの閉塞(孔 水や土砂等の堆積 基水:集水井内部の ない、もしくは排水 周辺の損傷 周辺の埋没	口部に付着物がある) 底張コンクリート天端 より水面が高い場合)	結果(口にレをチェック) 以果常なし 以果常あり 「他の理由で見えにくい 関連なり 「世の理由で見えにくい 関連なり 「世別はアに関係すればチェック」 「世別はアに関係すればチェック」 「世界があり
付帯施設	※天蓋の有無を確認 ☑ 有 □ 無(見当たらない) ※点検□の施錠: ☑ 有 □ 無 ④ 点検梯子 ※点検機子の有無を確認 ☑ 有 □ 無(見当たらない)	□ 2.腐食(錯 □ 3.点検ロ(□ 4.点検ロ(□ 1.変形・損	情、表面劣化等) の鍵の損傷・腐食等 の鍵がかかっていた		 異常あり (株式)は下に重点すれば手がかける 植生等で見えにぐい 異常なし 異常あり (株式)は下に重点すれば手がかける 値生等で見えにぐい 値生等で見えにぐい
	⑤安全施設(立入防止柵等) ※安全施設の有無を確認 □ 有 ☑ 無(見当たらない) ※入口の施錠: □ 有 □ 無	□ 3.柵の錠(□ 4.入口の	ま、表面劣化等) の損傷・腐食等 鍵がかかっていない	(開いている)	□ 異常なし □ 異常あり 「収容」□ 下に□ 当すれはキュック □ 配生等で見えにくい
	⑥周辺状況			・・押出し・吸出し・亀裂等) 大等)	☑ 異常なし □ 異常あり [株実]以下に以るすればそれか □ 植生等で見えにく()
	点検結果 □ 異常なし ☑	異常あり	::上記で一つでも	「異常あり」があれば点検	結果も「異常あり」とする
15 内深立日	項目および周辺状況で気づいた点があっ 5:55調査開始, 1径:3.0m, 2さ(水面):7.3m, 5ち上がり:1.59m, C:363µS/cm,水温:16.6℃, イナープレートに腐食による穴			.てくみ上げ	
	形でお質には様々な種類があります) 根因のエクリート 天蓋 基礎地盤 地上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下水の排除や	たべり面に働く	最後に必ず施錠を確認する。 付帯施設	を目的としています。 Moaなどの危険行動はしない。

□ 1.追加調査が必要 □ 2.補修が必要 □ 3.点検を継続

点検年月日	17 / 5/	31 天候	曇り	点検者		(調査票番号:	7)
諸 区域名	丸山7号	ブロッ	ク名		施工年度	不明		
元 該坐体記	体記来品							



日常管理調査票(2/2)

点検者

曇り

31 天候

地すべり防止施設機能診断調査

(調査票番号:

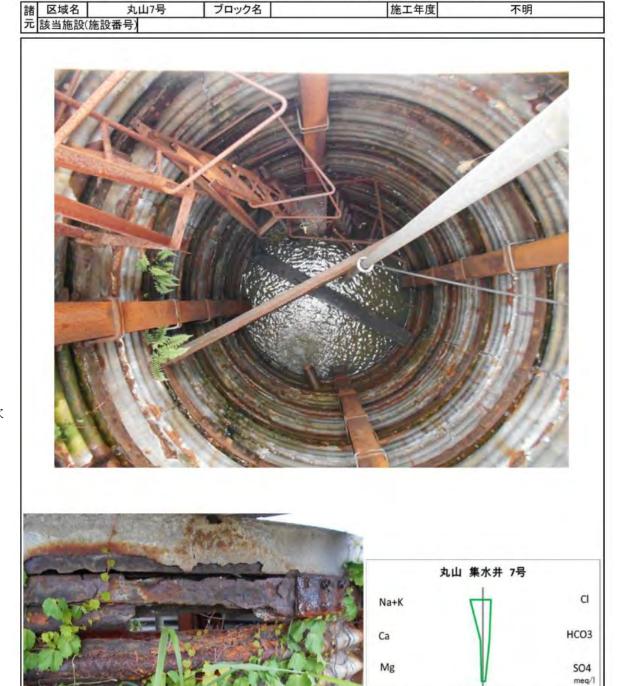
<位置図·写真(自由書式)>

10.2. [点検年月日 17 / 5 /

易 機 能 診 断 に 関 す る 集 水 井

の 調 査 表

次 \sim ジ カュ 5 実 際 \mathcal{O} 調 査 で 使 用 す る 調 査 表



10

を示す.

(1) 集水井の施設情報個表

集水井の施設情報個表

		基本	諸元	
50	查	В	44 100 4	農水省・林野庁・
56	入	者	管 理 者	国交省・県
施	設 I	D		ライナー
t	すべり区域	名	形 式	コンクリート
te	すべりブロック	7 名		
施	設	名		
施	I	年	•	***************************************
位		置		
Ī		外観等から	の諸元情報	
全	体 画	像	天 蓋 形 式	エキスパンドメタル・他
天	蓋 直	像 □	メッシュ幅 (cm)	
Ė	径	(m)	入孔蓋の有無	有・無
ij.	ち上がり	(m)	鍵の有無	有・無
深	度	(m)	入孔の可能性	可・困難
防	護 策 形	式		
		内部の諸元情報(全方位力	メラの情報を加味して)
内	部 映	像		
点	挨 挮	子 直線	・ らせん ・ 互い	違いらせん
ē	イナーブレー	- F	どぶ漬け ・ 黒	皮
栗	水Bの上段の	数		
集	水Bの上段の深度	(m)		
	1			
集	水B下段	数		
*****	水Bト段水Bの下段の深度			
集	水Bの下段の深度		水面 ・ 水没 ・	不明
集排	水 B の 下段 の深 B	E (m)	水面 ・ 水没 ・	不明
集排排	水 B の 下段の深度 水 B の 状 水 B の	E (m)	水面 · 水没 ·	不明
集排排	水 B の 下段の深度 水 B の 状 水 B の	E (m) 整 数 (m)	水面 · 水没 ·	不明
集排排排排補	水 B の 下段の深度 水 B の 状 水 B の 水 B の 深 度	(m) (cm)	水面・水没・	不明
排排排排補パ	水 B の 下段の深度 水 B の 状 水 B の 水 B の 楽 度 強リング間隔	整 数 (m) (cm)	水面・水没・	不明



※2018/04/04 版

集水井の施設情報個表-1 画像

全体画像	
天蓋画像	
内部画像	

集水井の施設情報個表-2 画像

内部画像	
内部画像	
Nummer of the part of the par	
内部画像	

(2) 集水井の施設状態個表

集水井の施設状態個表-1

		>141111 - NO 11X						
		基本諸	抏					
調	<u></u> 查 E		施	ā	殳	名		
記	入		施]	<u> </u>	年		
天	個	晴 くもり 雨	位			置		
地	すべり区域名							
		外観調	査					
全	体 画 像	! 🗆	天	蓋	画	像		
防	護 柵 の 有 無	有・無				,		
防	護 柵 の 状 態	良・不良						
周	囲の地盤の状態	良・不良						
周で	囲の植生(集水井が発見 き る か)	良・不良						
天	蓋 の 状 態	良・不良						
入	坑 蓋 の 状 態	良・不良						
鍵	の 有 無	有・無						
		水位浿	定					
水	位 (m)		底	までの) 距離	(m)		
		 	•					
		, 内部調査(目視,内 -	部動	画に基っ	づく)			
内	部 画 偷	T	部動内	画に基っ	づく) 画	像		
			_			像		
内	検 梯 子 の 状 態	良・不良・危険	_			像		
内点ラ	検 梯 子 の 状 態	良・不良・危険良・不良	_			像		
内点ラ補	検梯子の状態イナーの状態	良·不良·危険 良·不良 良·不良	_			像		
内点ラ補バ	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態	良·不良·危険 良·不良 良·不良 良·不良	_			像		
内点ラ補バ	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態 ー ティ カ ル S の 状 態 テラルストラッドの状態	良·不良·危険 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良	_			像無無	有(本)・無	
内 点 ラ 補 バ ラ 井	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態 ー ティ カ ル S の 状 態 テラルストラッドの状態	良·不良·危険 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良	内	部	B			
内 点 ラ 補 バ ラ 井 上	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態 ー ティ カ ル S の 状 態 テラルストラッドの状態 簡 の 植 生	良·不良·危險 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良	内	部	B			
内 点 ラ 補 バ ラ 井 上	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態 ー ティ カ ル S の 状態 テラルストラッドの状態 筒 の 植 生 段 集 水 B の 状 態	良·不良·危険 良·不良·不良 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良 良·不良	内	部	B			
内 点 ラ 補 バ ラ 井 上 下 排	検 梯 子 の 状 態 イ ナ ー の 状 態 強 リ ン グ の 状 態 ー ティ カル S の 状態 テラルストラッドの状態 筒 の 植 生 段 集 水 B の 状 態	□	内	部	B			

※2018/04/04 版



集水井の施設状態個表-2 画像

	P14.3.91	10 A77 17 11 10 1	 - 127·	
全体画像				
内部画像				
内部画像				

集水井の施設状態個表-3 画像

全体画像	
内部画像	
内部画像	

(3) 集水井の施設情報個表の入力項目(案)

集水井の情報個表の入力案を以下に示す.これらの項目は,集水井の内部調査カメラ等を用いることで現状でも十分記載が可能な項目である.将来的に,状態評価の項目を決定していく中で,適宜修正を行う.

施設情報個表の調査項目

項目	例	計測方法	備考
施設ID	0000001112	設計図書	IDの規則
地すべり区域名	丸山地区	設計図書	設計図書から
地すべりブロック名	Aブロック	設計図書	設計図書から
施設名	丸山1号	設計図書	設計図書から
施工年	1963	設計図書	設計図書から
位置	36.032660,	GPS付き携帯電話	*1) 後ほど(2) で説明
	140.096854	google Map形式	
管理者	農水省, 林野	設計図書	設計図書から
	庁, 国交省, 県		
形式	ライナー, コ	設計図書	目視による
	ンクリート		
		外観等からの諸元情報	
全体画像を撮影			集水井全体が写る画像
天蓋画像			天蓋の状況が分かる画像
直径	3.5m	メジャー	内径
立ち上がり	0.5m	メジャー	天蓋から地面までの距離
深度	20.0m	水位計	底までの距離
防護策形式		目視	防護柵があれば、無いときは無
天蓋形式		目視	
メッシュ幅・長さ		メジャー	
入孔蓋の有無	有,無	目視	
鍵の有無	有,無	目視	
入孔の可能性	可, 困難	目視	安全に入孔できるかという観点
		内部の諸元情報	
内部画像を撮影			集水井の内部画像
点検梯子	直線,らせ	目視,調査後動画	
	ん, 互い違いら		
	せん		
ライナープレート	どぶ漬け,黒	目視,調査後動画	
	皮		
集水ボーリング1段	20本	調査後動画	

目数			
集水ボーリング1段	15.6m	調査後動画	天蓋から
目 深度			
集水ボーリング2段	18本	調査後動画	
目 数			
集水ボーリング2段	20.6m	調査後動画	天蓋から
目 深度			
排水ボーリング 数	2本	調査後動画	
排水ボーリング 深	21.3m	調査後動画	
度			
補強リング間隔	0.5m	調査後動画	
バーティカルスティ	8本	調査後動画	
フな-本数			
ラテラルストラッド		調査後動画	
段数			
ラテラルストラッド		調査後動画	
本数			

Google Map からの緯度経度の収集

- ① Android 搭載のスマートフォンに googleMap をインストールする.
- ② Android 搭載のスマートフォンまたはタブレットで Google マップ アプリ **ご** を開く



- ③ 地図上でラベルが付いていない場所を押し続けます. 赤いピンが表示されます.
- ④ 上部の検索ボックスに座標が表示されます.
- ⑤ スクリーンショットで画面を保存して、あとで調査表に入力.

(4) 集水井の状態調査表の入力項目 (現状の試行案)

集水井の状態調査表の入力項目(案)を以下に示す.この項目はあくまでも、現状の案であり、 集水井の内部の動画を今後収集・分析する中で評価の目安共に作製を進める.

施設状態調査票

項目	例	評価項目	備考		
施設ID(自動)	000123456		基本情報がないときどうするのか?		
点検年月日	2017/01/01 10:00				
点検者	中嶋勇				
天候	晴,曇り,雨				
		外観調査			
全体画像			集水井全体を写した画像		
天蓋画像			天蓋の画像		
追加画像			2~3枚まで. 防護柵, 入孔口, 周囲の状態		
			など		
防護柵の有無	有・無				
防護柵の状態	良・不良	防護柵内に人がはい	集水井の敷地に人が侵入しない機能があるか		
		れないか. 防護柵自	(良)		
		体が危険でないか.	防護柵を触れたりした場合に危険はないか		
			(良)		
状態説明	文章		防護柵の状況を腐食や破損を中心に記載		
周囲の地盤状況	良・不良	集水井の周囲の湿	集水井周辺に水が流れる. 長靴でないと作業		
		潤・陥没から判断	できないとき(不良)		
状態説明	文章		湿潤,陥没を中心に記載		
周囲の植生 (視界)	良・不良	周囲の道路などから	集水井の周辺が除草されているか,遠方から		
		集水井が目視可能か	確認できるか		
天蓋の状態	良・不良・危険	天蓋の上で作業がで	良:落下防止器具を付けて作業可能		
		きるかで判断	不良:専門業者の作業が必要		
			危険:天蓋に乗ることは危険		
状況説明	文章		腐食、変形について記載		
入孔蓋の状態	良・不良	変形,腐食,開閉可	腐食、変形がすすみ、開閉が不能なものが不		
		能か	良		
鍵の有無	有・無	評価写真集が必要			
状況説明	文書		腐食,変形, 開閉, 鍵の有無		
	水位などの測定				
水面までの距離	20.0 m	水位計	天蓋から地面までの距離		
底までの距離	20.5 m	水位計	底までの距離		
内部画像 2			必須		

			(点検梯子,集水ボーリング,水面,植生な
			どをいれて,直径の両側から撮影する)
	内部状況の把握	(内部調査カメラを中心)	に,調査後に記載)
全体内部画像			デジカメ等で内部を写した画像
内部動画			内部調査カメラによる画像
内部画像			内部調査カメラから抽出した画像
点検梯子の状態	良・不良・危険	点検梯子で集水井内	入坑可能(良)
		に入坑できるかを動	落下防止装置をつけた専門業者による入坑が
		画等から判定	可能 (不良)
			落下のおそれがあり入坑不可(危険)
状態説明	文章		点検梯子の状態を記載
ライナープレート	良・不良		ライナーの腐食(色),土質材料の侵入,濡れ
の状態			
状態説明	文章		ライナーの腐食(色),土質材料の侵入,濡れ
補強リングの状態	良・不良		エッジの腐食、ボルトの腐食、変形
状態説明	文章		
バーティカルステ	良・不良		エッジの腐食、ボルトの腐食、固定バンドの
ィフナーの状態			腐食,変形
状態説明	文章		
ラテラルストラッ	良・不良		エッジの腐食, ボルトの腐食, 変形
トの状態			
状態説明	文章		
井筒の植生	小・多		
木の有無	有・無		
状態説明	文章		
1段目集水状態	良・可・不良	良:全本数集水	P:動画からは水滴が垂れているのはわかる
		可:全本数の半分以	が、どの程度閉塞しているかを判断するのは
		上が集水	難しい
		不良:全本数の半分	
		未満が集水	
2段目集水状態	良・可・不良		
排水 B の状態説明	文章		
排水 B の状態	良・不良		
井筒壁からの侵入			
水の状態			
井筒全体の変形			